

要望書の提出

栃木県立黒羽高等学校存続に関する要望書

(主旨)

大田原市内に設置されている栃木県立黒羽高等学校の存続を次の理由で要望します。

(理由)

黒羽高等学校がある旧黒羽町は、若年人口の流出に歯止めがかからず、令和3年4月1日に過疎地域に指定されました。このため、大田原市総合計画や大田原市過疎地域持続的発展計画においても、今後の人口減少等を見据え、持続可能な社会の構築を優先課題の一つとしてあげております。

さて、黒羽高等学校は、地域と連携した特色ある教育活動を展開しており、相撲をはじめとしてスポーツや文化活動も活発であります。卒業後も地域に定住し、黒羽地区に活力を与える担い手を多く輩出し、地域産業の発展や地域文化の継承など素晴らしい成果を上げております。

しかしながら、黒羽高等学校が再編等により閉校となってしまった場合、将来の担い手の流出が加速し、本市全体の活力が減退することが予想できます。

生まれ育った地域で学び、そこに住むことは地域の活性化につながり、地域住民も切望しております。

このため、第三期県立高等学校再編計画の策定においては、地域に根差した学校づくりという視点も重視していただき、黒羽高等学校の維持・存続を強く要望いたします。

令和5年6月30日

栃木県教育委員会教育長 阿久澤 真理 様

大田原市議会議員 君島 孝明

